

CFDシミュレーションにおける歯科粒子モデルの構築

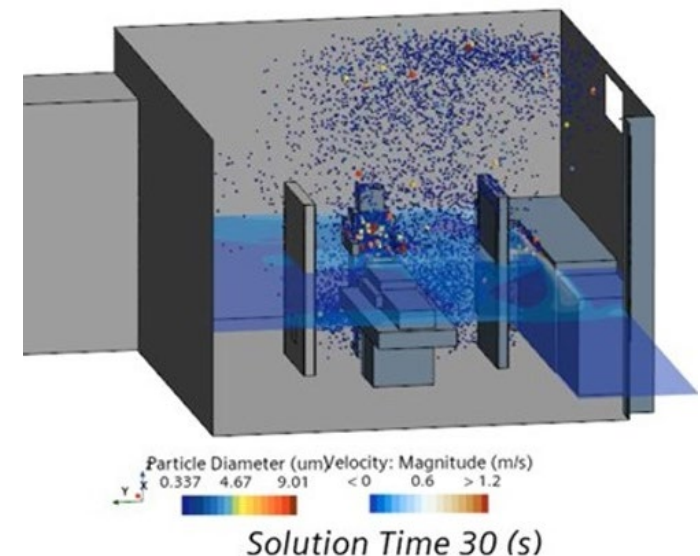
大阪大学 歯学部附属病院 南部恵理子、野崎一徳

目的 歯科用エアタービン使用時に発生する飛沫のモデル構築

内容 STAR-CCM+を用いた数値解析により、実測された粒子の挙動を再現するため、飛沫飛散に影響を及ぼすパラメータの検討を行った。

結果 複数の異なる条件でCFDを実行して実測値との比較・検証を実施し、飛沫の挙動に影響を及ぼすパラメータを明らかにした。

利用した計算機	SQUID 汎用CPUノード群
ノード時間	28,505 時間
使用メモリ	最大100 GB
並列化	最大10ノード 並列



飛沫発生シミュレーションの結果